手を携えて地域振興に取り組む

～ 友好都市協定書調印 ～

左から北都銀行斉藤頭取、横山市長、小谷町長、筑波銀行藤川頭取

７月４日茨城県の大洗文化センターで、にかほ市と大洗町による友好都市協定書調印式が行われました。また協定に基づく「災害対策支援協力に関する覚書」、筑波銀行、北都銀行を加えた４者による「地域振興協定書」も併せて調印しました。

茨城県中央部大平洋側に位置する大洗町は漁業と観光が盛んです。観光客数は茨城県１位を誇りますが、震災後大きく落ち込みました。にかほ市も雇用状況が厳しい現状のなかで、お互いの保有する資源を最大限活用しながら、観光、産業等の地域振興を図っていくものです。

『個』への配達業務実績を活かして

～ ヤマト運輸と市　災害協定締結 ～

６月24日、象潟庁舎にてヤマト運輸秋田主管支店と市による、災害協定が締結されました。これは地震等の災害発生時に、避難所への支援物資運搬や物資保管所管理などの業務を両者が連携して、避難者支援に当たることを目的としています。

締結式では、同支店の末次龍一支店長が「『個』への配達業務実績が災害時に活かせると思う。多くの面で市に協力したい」と述べ、協定書を取り交わしました。

同社は東北各県で自治体との災害協定を結んでおり、にかほ市は県内で５番目の締結となります。

締結を終え握手する横山市長と末次支店長

日沿道『遊佐象潟道路』の早期着工を強く望む

～ 各期成同盟会合同整備促進大会 ～

意見発表する市観光アドバイザー野原氏

７月２日、由利本荘市のホテルアイリスで日沿道建設促進や羽越本線新幹線直通促進、鳥海ダム建設促進など５団体による合同整備促進大会が開催され、にかほ市や由利本荘市の関係者など約340人が参加しました。

鉄道についての意見発表では、にかほ市観光アドバイザー野原静雄氏が登壇し「交流人口の拡大により鉄道利用者の拡大を図る。それが羽越新幹線の実現に近づく道につながる」と話しました。大会決議では、横山市長が『遊佐象潟道路』の早期着工などを要望する決議（案）を読み上げ、満場の拍手で採択されました。

私の心の半分は残していく

～ 仁賀保地区ＡＬＴ・ステファニーさんからのメッセージ～

離任されるステファニー・サンダースさん

皆さんが暮らす、この素敵な街に来て３年がたった。初めて来た時は、自然が豊かなこと、人がとても優しいこと、そしてハチが大きいこと（笑）に驚いたわ。

私は幸運だった。だってたくさんの人と友達になる機会が得られたのだから。だけど大好きなこの街や、友好的な人たち、それにとても素敵な鳥海山とお別れしなければならなくなったの。とても辛いわ。

７月末でさよならだけど、ここは私の第２のホーム。心の半分は残していくし、またいつの日か戻ってくるからね。皆さんに感謝してる、ありがとう！

きっと皆さんのことが一番恋しくなる

～ 金浦地区ＡＬＴ・リアムさんからのメッセージ～

離任されるリアム・ミッチェルさん

にかほ市に来た２年前はとても緊張したんだ。だけど皆さんのお陰で、その必要はなかったと２年経った今わかったよ。本当に来てよかった。

僕にとってこの街は特別なところになったよ。だって、学校から見える鳥海山と日本海、夏には海水浴と花火、冬にはスノーボードが楽しめたんだから。市のサッカーリーグにも参加できたしね。でも、８月にお別れなんだ。

山も海も恋しくなるだろうけど、やっぱり皆さんのことが一番恋しくなるよきっと。本当に２年間ありがとう。僕は忘れないからね。またいつかどこかで会おうね！

寄付・寄贈

●木賊（とくさ）　薫さん（東京都）
故郷の活性化、元気のために

木賊さんの実母・妙子（故人）さんは、昭和38年にスーパーマーケット「つるまい」を設立されました。平成６年の２月にジャスコ株式会社へ譲渡するまで本荘由利地区を中心に14店舗を展開し、地域の雇用と消費生活の安定、利便性を提供してこられました。木賊さんは昨年の秋に逝去された妙子さんの思いを継がれ「故郷の活性化、元気のために役立ててほしい」と、７月５日に市に対し、１千万円を寄附されました。